

執筆担当	所在地	畜種	キーワード
兵庫牧場 業務課	兵庫県 たつの市	肉用鶏	鶏舎消毒、消毒プログラム、 マイクロ MIX 法

兵庫牧場における鶏舎の消毒方法について

家畜改良センター兵庫牧場では、各種伝染病の侵入防止等の為に様々な衛生対策に取り組んでいます。今回はそのうちの一つとして、鶏舎の消毒方法をご紹介します。

当場の鶏舎設備はすべて解放式鶏舎です。鶏の成育ステージごとに鶏舎を移動させる必要があり、生まれたばかりのひなを飼育する鶏舎と、ある程度抵抗力がついた成鶏を飼育する鶏舎では求められる衛生水準が異なります。このため、オルソ剤や逆性石けん、複合次亜塩素酸系消毒剤、ドロマイト石灰などの消毒薬を鶏舎ごとに選択し、組み合わせて消毒しています。なお、[NLBC 家畜衛生通信第 25 号](#)（←クリックすると第 25 号へリンクします。）ではドロマイト石灰の有用性について紹介しましたが、床の性質によっては容易にはがれてしまうなど、適さない場合もあるため、対策すべき病原体への効果はもちろんのこと、鶏舎の特徴も考慮して消毒薬を選択します。

ドロマイト石灰塗布による
鶏舎床の消毒



一般的に養鶏場では複数の消毒薬を用いて反復消毒をするプログラムによる消毒が行われていることが多いようですが、当場でもプログラムによる消毒を実施し、消毒効果を高めています。また、水洗・消毒薬散布・乾燥といった工程の中で当場が**最も重要と位置付けているのは、水洗と乾燥です。**水洗は、消毒効果を減弱させる有機物を徹底的に取り除くための重要な工程です。乾燥は、微生物が必要とする水分を奪い、次の消毒薬が薄まらず効果的に消毒するための重要な工程です。また、消毒薬の散布後に十分な乾燥時間を確保することは、消毒薬の作用時間の確保にもつながります。消毒薬は頼もしい存在ですが、本来の性能が発揮されなければ期待した効果が得られませんので、**水洗と乾燥を徹底し、消毒薬が有効に働く環境を準備してあげることが重要**と考えています。以下の 1～4 の工程は、成鶏ステージの鶏舎でオールアウトの（鶏が全くいない）時に実施している一連の消毒方法です。

1. 徹底的な水洗による有機物除去



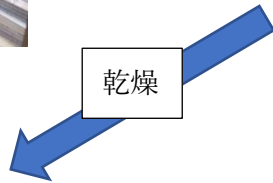
乾燥



2. オルソ剤散布



乾燥



3. 逆性石けん散布



乾燥



4. 次亜塩素酸系消毒剤散布



これまで試行錯誤を積み重ねた結果、当场では上記のような消毒プログラムを実施し、長年鳥マイコプラズマ症やサルモネラのフリーを維持しています。しかし、気候変動、野生鳥獣による病原体の侵入、遺伝的な能力向上に伴う鶏の体質の変化により、最適な消毒方法も変化するかも知れません。今後の変化に対応するため、試行錯誤を続けていく必要があります。

今般、当场では畜産技術協会が実施する令和6年度農場消毒強化技術実用化推進事業における新たな消毒方法（マイクロMIX法）（←クリックすると該当ページ※にリンクします。）の試験に協力しています。消毒薬として広く使用されている逆性石けんにマイクロ水酸化カルシウム（粒子径の小さい水酸化カルシウム粉末）を溶解させることで増強・拡大するとされる消毒効果を検証する試験です。

兵庫牧場は国産鶏種の育種・改良を担い安心・安全な畜産の持続的な発展を実現するため、変化する環境の中で鶏の病気を防ぐ水洗・消毒・乾燥の最適解を追求し、実践していきます。

※公益社団法人 畜産技術協会「農場のバイオセキュリティ強化のために」
(<https://jlta.jp/archives/8258>)